


各教育関係者様


 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校 平成25年度 研究発表会のご案内(二次)

## 研究主題：言語活動の先に見えるもの ～新たなる学びへの意欲を生む活用の授業づくり(2年次)～

本校では、中教審最終答申や学習指導要領改訂の趣旨などを踏まえつつ、平成21年度から23年度までの3年間、「思考力・判断力・表現力等を育成する指導と評価」を研究の主眼に置いて、その具体的な方策である言語活動の充実に取り組んで参りました。この研究を進める中で、私どもは、充実した言語活動の背後には、生徒一人ひとりの学習意欲が存在していること。教科の学びを今以上に充実させていくためには、言語活動によって喚起される学習意欲の存在を見定めるとともに、それを高めていけるような実践の構築が必須であること。すなわち、言語活動が切り開く意欲に支えられた授業づくりの研究が、今求められる視点であろうと考えた次第です。

このことを踏まえて、平成24年度からは、研究主題を「言語活動の先に見えるもの ～新たなる学びへの意欲を生む活用の授業づくり～」として、この研究に着手致しました。1年目である昨年度は、生徒の学習内容に対する関心や意欲を「探究の芽」と位置付けながら、それらが着実に育っていく活用の授業の具体を提案させていただきました。これを受けて2年目となる本年度は、充実した言語活動が展開される学習過程全体をターゲットとしながら、生徒の関心や意欲が高まる実態を言語活動の内容とともに明らかにしながら、それらを着実に見取り、授業として展開していく実践の具体について提案いたします。

なお本校は、平成23年度より総務省「フューチャースクール推進事業」及び文部科学省「学びのイノベーション事業」の実証研究の指定を受けており、ICTの効果的な利活用についても先生方とご意見を交えたいと存じます。

以上を提案内容とします。本校の公開研究会について、多くの方々にご参会いただき、ご指導・ご助言を賜りたく、ご案内申し上げます。

横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校長 加藤 圭司

### 1 主催 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校

2 日程 平成26年2月22日(土) 10:00～16:10 国語, 社会, 音楽, 美術, 保健体育  
平成26年2月23日(日) 10:00～16:10 数学, 理科, 家庭, 英語

9:00～ 受付	10:00～10:50 公開授業	移動	11:00～(11:30) 生徒による 感想・発表等	昼食 休憩	12:30～12:50 校長挨拶・ 基調提案 (両日同内容)	12:50～16:10 研究協議・ 講演等
教科分科会ごとに行います。途中休憩をとります。						

- ※ 今年度は技術・家庭科[技術分野]の研究発表は行いませんが、研究紀要に実践事例を掲載しています。
- ※ 昼食は、ご持参いただくか、学校前の弘明寺商店街などをご利用ください。お弁当の販売もいたしております。
- ※ 最新のICT環境を生かした実践についても提案する教科があります。

### 3 助言及び講演の先生方

国語	文部科学省教科調査官 富山 哲也 先生	理科	文部科学省教科調査官 田中 保樹 先生	保健 体育	文部科学省教科調査官 石川 泰成 先生
社会	文部科学省教科調査官 濱野 清 先生	音楽	文部科学省教科調査官 大熊 信彦 先生	家庭	文部科学省教科調査官 筒井 恭子 先生
数学	文部科学省教科調査官 水谷 尚人 先生	美術	文部科学省教科調査官 東良 雅人 先生	英語	文部科学省教科調査官 平木 裕 先生

4 各教科の研究テーマ・公開授業コンセプト・共同研究者 一覧

【1日目 : 22日(土)】

教科	各教科の研究テーマ 公開授業 学年	提案コンセプトや 授業の見所, 単元・題材など	担 当 ◇ 授 業 者	共同研究者 (横浜国立大学)
国語	○新たな学びへの意欲をはぐくむ単元のまとめレポートとポートフォリオの指導と評価 ~言語で学びを俯瞰し, 言語で学びを関連づける~ 公開授業 2年	・「書くこと」について, 目的や意図をもって書く活動を通して, 記述する力を身につける指導の在り方を提案します。教科提案では, 3年間を通して身に付ける国語の力について, 取組を紹介するとともに, 言語で学びを俯瞰し, 言語で学びを関連づける実践を提案します。	◇本間 隆司 千葉 瑠衣 高橋 あずみ	教授 府川源一郎先生 高木まさき先生
社会	○自ら学ぶ意欲を引き出す授業の工夫 ~歴史的分野における活用の授業づくり~ 公開授業 2年	・新たな学びへの意欲を引き出すため, 言語活動を取り入れた授業を2年生歴史的分野で行います。これまでに学んだことを活用し, 思考力・判断力・表現力等を育成するための指導の工夫について提案します。	◇林 達郎 那須一博	教授 西脇 保幸先生 准教授 多和田雅保先生
音楽	○音楽科における主体的に創意工夫して表現活動に取り組む生徒を育てる授業づくり 公開授業 2年	・日本の伝統音楽についての題材で, 言語活動を取り入れて意欲を高め, 箏の替え手の創作と表現活動の授業実践を行います。	◇岩屋 禎枝	教授 中嶋 俊夫先生
美術	○美術科における主体的に学ぶ意欲が芽生える題材や授業づくり 公開授業 1年	・様々な創造的な技能を身に付け, これらを活用し表現しようとする意欲の高まりを目指します。公開授業では, 生徒作品による相互鑑賞を行います。総合的な学習の時間や技術・家庭科(家庭分野)との連携をはかり, 美術が生活に結び付く実感をもたせます。	◇福田 幸恵	准教授 小池 研二先生
保健体育	○保健体育科における明るく豊かな生活を営む態度を育成する授業づくり 公開授業 1年	・バスケットボールの機能的特性(突破やシュート)を味わわせ, 芽生えた意欲の高まりをグループ活動の中で仲間と表現し, 課題設定・解決に取り組みます。また, これまでに学んだ単元の内容を活用し, 単元間の連動も意識した授業を提案します。	◇小川 充 関 さおり	准教授 梅澤 秋久先生 前教授 落合 優 先生 (横浜創英大学教授)

○ 本校における言語活動のひとつコマ。その先に見えるものとは何か？



映像を基に交流して課題を見付ける



計画した実験を実行し考察する



理想的なバトンパスを協働的に考える

【2日目 : 23日(日)】

教科	各教科の研究テーマ 公開授業 学年	提案コンセプトや 授業の見所, 単元・題材など	担 当 ◇ 授 業 者	共同研究者 (横浜国立大学)
数 学	○ 探究を通じた数学的な思考力・表現力を高める指導と評価 公開授業 1年	・ 1年「D資料の活用」領域において, 統計的問題解決過程における「問題の設定」, 「解決方法の計画」, 「データの収集」についての授業を公開いたします。また, 生徒の問いと言語活動を軸にした数学的活動の実践を提案します。	◇ 大内 広之 藤原 大樹 石原 理佳	教授 池田 敏和先生
理 科	○ 科学的な探究過程を意識した活用の授業づくり 公開授業 1年	・ 科学的探究のプロセスに言語活動を導入し, 科学的な思考力・表現力を育成する授業を実践します。また, 科学的な思考力・表現力の育成を通して, 「科学的に探究しようとする態度」や「学習したことを日常生活や社会へ応用しようとする態度」の形成を図る指導の方策について提案します。	◇ 井上 祐介 ◇ 西野 厚志	教授 森本 信也先生
技 術 ・ 家 庭 分 野	○ 生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育成する授業づくり 公開授業 1年	・ 「C衣生活・住生活と自立」の(2)住居の機能と住まい方と「D身近な消費生活と環境」の(2)家庭生活と環境の関連を図った授業を通して, 生活を工夫し創造する能力と実践的な態度の育成を目指します。 ※技術分野の研究発表は行いません。	◇ 菅田 浩美	教授 堀内かおる先生
英 語	○ 言語や文化への気付きを大切にしたコミュニケーション能力の育成 公開授業 2年	・ 4技能の統合的な活動を通じた思考力・判断力・表現力を育成する指導について, 見通しをもたせて活動を行い, 生徒の振り返りや相互評価・意見交流・発表等での気付きを生かしたコミュニケーション能力の基礎を養う授業を実践します。	◇ 大窪洋次郎 森脇 恵美	教授 満尾 貞行先生



文章の構想を練る



プレスピーチで交流する



探究の成果を発表し評価し合う

## 5 会場

横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校（横浜市営地下鉄弘明寺駅下車すぐ）



## 6 参加費及び書籍代

一日参加：2,000円 両日参加：2,500円（当日、受付にてお支払いください。）

※ 両日とも同日程（基調提案も同内容）で、教科のみ異なります。

※ 全教科の学習指導案を封入してありますので、一日参加ですべてお持ち帰りいただけます。

## 7 申込

本校ホームページからお申込み下さい。（12月24日（火）から申込を開始します。）

授業会場の都合により、「教科ごとの定員制」とさせていただきます。「当日受付」はいたしません。

ご理解をいただき、お早めにお申込みください。

[申込から受付までの流れ]

□1 下記URLにアクセスする。

URL <http://nxc.jp/yokochu-ynu/>

□2 「研究発表会申込(H26.2.22・23)」のバナーをクリックして進む。

□3 「個人情報保護に関する誓約書」をお読みいただき、必要事項を入力して申し込む。

（必ずお一人様ずつお願いします。）

□4 「平成25年度研究発表会申込フォーム」のメールが届いたら、これを印刷し保管しておく。

□5 印刷した「平成25年度研究発表会申込フォーム」を、研究発表会当日に受付で提出する。

## 8 その他

○ 受付は例年たいへん混み合います。お早めに受付を済ませることをお勧めいたします。

○ 当日は所属機関（学校など）でお使いになっている名札をご持参ください。

○ 研究協議、講演における録音・撮影などはご遠慮ください。

○ ご不明な点や申込後のキャンセルは、[担当]までご連絡ください。

[担当] 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校  
研究主任 藤原 大樹（E-mail：daiki-7@ynu.ac.jp）  
<http://nxc.jp/yokochu-ynu/>  
〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-3  
TEL 045-742-2281 FAX 045-742-2522